

[参考事項]

新技術名：ブドウ自根苗の雨除け根域制限栽培による早期成園化（平成7～11年）

研究機関名 果樹試験場天王分場

担当者 柴田雄喜・藤井芳一・田口辰雄 他2名

[要約] ブドウ自根苗による雨除け根域制限栽培で、挿し木2年目から結実し早期結実性がみられる。商品性のある果房が得られるのは4年目であり、有核栽培による大粒種の結実も安定する。

[ねらい]

ブドウの新・改植園においては初期収量を高めて早期に成園化させ、花振るいを抑制して結実を安定させることが大切である。そこで、早期成園化に向けた高品質ブドウの安定生産のための雨除け根域制限栽培について検討する。

[技術の内容・特徴]

1. 自根苗の繁殖方法は、1995年2月15日に2節つけた休眠枝の下部をオキシベロン2倍液に3秒間の浸漬処理をする。床土に吸水させたロックウール（5cm×5cm×10cm）を使用し穂木を差し込み、農電サーモとビニール被覆で20～30℃に保温する。4月15日に鉢上げ後、5月2日に60ℓプラスチック製仕立て鉢に定植し、雨除けハウス内に置く。このように育成された自根苗は、挿し木2年目には全ての品種で結実し早期結実性がみられる（表1）。
2. 自根苗の雨除け根域制限栽培（列間2m×樹間1m 500本/10a）において、棚面は3年目で十分に新梢により埋まり、10a当たりの換算収量は密植効果で各品種とも3年目で1500kg以上と成園並に確保される（表1）。
3. 雨除け根域制限栽培の果実品質については年次変動がみられるものの、各品種とも平均果房重と1粒重が徐々に増加し、果房の質が高まり、また大粒種の結実も安定する。なお、雨除け根域制限栽培で商品性のある果房が得られるのは4年目である（表1、2）。

[普及対象範囲]

県内全域

[普及・参考上の留意事項]

1. 秋田県においてはフィロキセラによる被害は確認されていないが、自根苗はフィロキセラに対する抵抗性がないので注意が必要である。
2. 雨除け根域制限栽培の‘安芸クイーン’で果頂部裂果がみられ、灌水方法の検討が必要である。

[具体的なデータ等]

表 1 雨除け根域制限栽培ブドウの生産性 (1995 - 1999 : 5 年目)

品 種 名	収 量 (kg / 10a)					平均果房重 (g)			
	2 年目	3	4	5 ²	累積収量	2 年目	3	4	5
ノースレッド	1200	1578	1062	2840	6680	64	99	183	252
ノースブラック	1210	3380	1814	3925	10329	74	204	210	249
ハニーシードレス	490	2124	636	2875	6125	61	175	106	237
安芸クイーン(有核)	530	1554	1028	2575	5687	145	181	238	251
ハニーブラック(有核)	1280	3720	2127	2390	9517	180	182	355	350
巨 峰	1500	3470	1530	2530	9030	214	221	363	346

² 5 年目収量 : 列間2m × 樹間1m 500本/10a植栽

表 2 雨除け根域制限栽培ブドウの果実品質 (1999)

品 種 名	収穫月日	調査果房数	果房重 (g)	着粒数	1 粒重 (g)	糖度 (%)	酒石酸 (g/100ml)	p H	裂果粒率 (%)
ノースレッド	9月20日	30	280.7	61.6	4.73	18.2	0.263	3.80	-
ノースブラック	9月 9日	25	263.0	62.6	4.52	15.2	0.270	3.53	-
ハニーシードレス	10月 4日	25	243.5	83.9	3.31	19.0	0.305	3.67	-
安芸クイーン(有核)	10月14日	37	305.4	21.6	15.15	18.7	0.433	3.91	7.2
ハニーブラック(有核)	10月 8日	15	381.0	38.8	10.11	20.4	0.413	3.76	-
巨 峰	10月 8日	25	355.0	33.1	12.06	18.6	0.404	3.61	-



写真 1 雨除け根域制限栽培の様子



写真 2 大粒種ブドウの結実安定 (' 巨峰 ')

[発表文献等]

なし